

資料4

平成28年度第3回 柏市いじめ問題対策連絡協議会

「柏市ネット型非行抑止サービス事業」 Fiiiかしわ 実証実験最終報告

平成29年3月17日(金)
柏市少年補導センター

成果・効果①

■ データの活用

Filiiにより、LINEの使用時間数や合計時間数、深夜時間帯の利用状況、やりとり回数・人数、LINEのやり取りからくる依存性などの有効なデータが得られた。

また、アンケート調査では無償実施への期待の声もあがっており、今回の取り組みやFilii自体には好感触が得られた。

成果・効果②

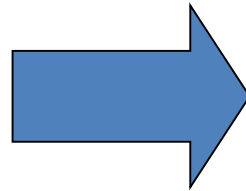
■ Filiiの有効性

実施期間中（4月～7月）のネット上のトラブル

※補導センターが相談を受けたもの、サイバーパトロールで発見したもの

※左記25件のうち、Filiiを活用していれば発見できた可能性のあるもの

| 分類 | 件数 |
|----------|-----|
| 生命に関すること | 3件 |
| 個人情報 | 16件 |
| いじめ | 1件 |
| 被害 | 1件 |
| 不適切投稿 | 2件 |
| 問合せ | 2件 |
| 合計 | 25件 |



| 分類 | 件数 |
|----------|----|
| 生命に関すること | 2件 |
| 個人情報 | 2件 |
| いじめ | 1件 |
| 被害 | 1件 |
| 不適切投稿 | 2件 |
| 問合せ | 0件 |
| 合計 | 8件 |

※約3割は早期発見できた可能性のある

今後の方向性

■ ネット型非行及びネットいじめの抑止

- ① 生徒や保護者への情報モラルの授業や啓発活動（出前講座）に使用し始め、今後も工夫し活用していく。
- ② ネットいじめ抑止と早期発見のため、教育委員会や各学校で情報を共有し、今後の指導に活用する。
- ③ 利用可能な対象者が想定よりも少なかったことなどから、補助等の本格導入については見送る。
- ④ 今後はネット型非行、ネットいじめの抑止、早期発見防止の取り組みの一つとして、F i l i i かしわの新たな活用方法を含め、検討していく。

アンケート調査

- モニター参加者（生徒と保護者）へアンケートを実施。
モニター指定校（2校）において、モニター不参加者も含めた紙でのアンケートも実施した。

■ 回答数

- モニターアンケート
対象：保護者と生徒

- ・ 第一回（開始時）
保護者回答数：38件
生徒回答数：5件

- ・ 第二回（終了時）
保護者回答数：19件
生徒回答数：1件

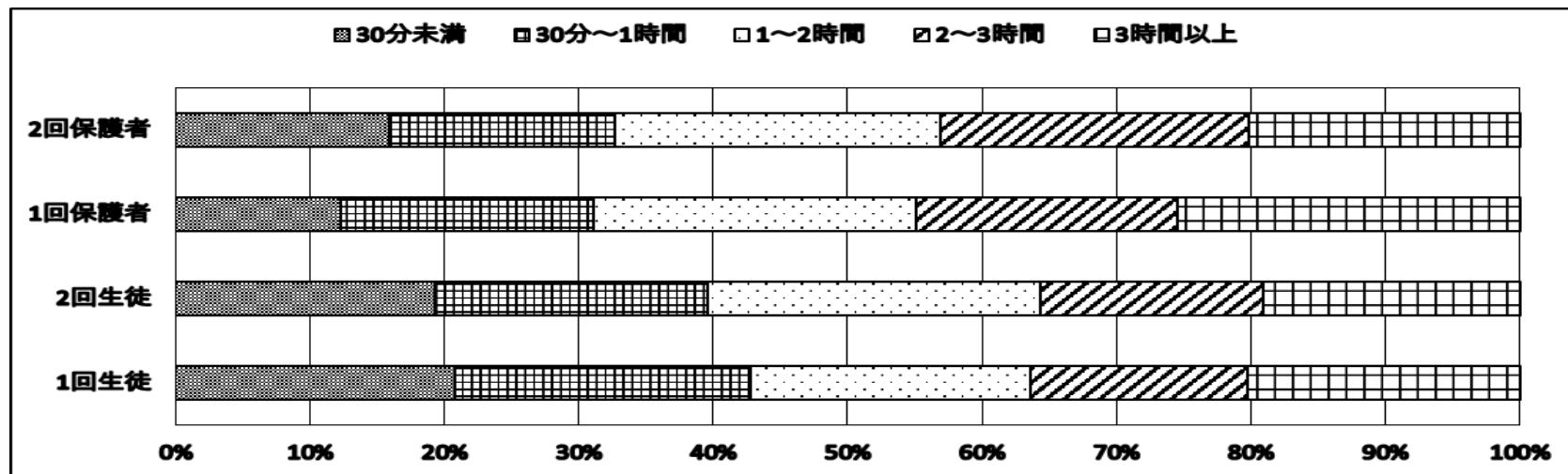
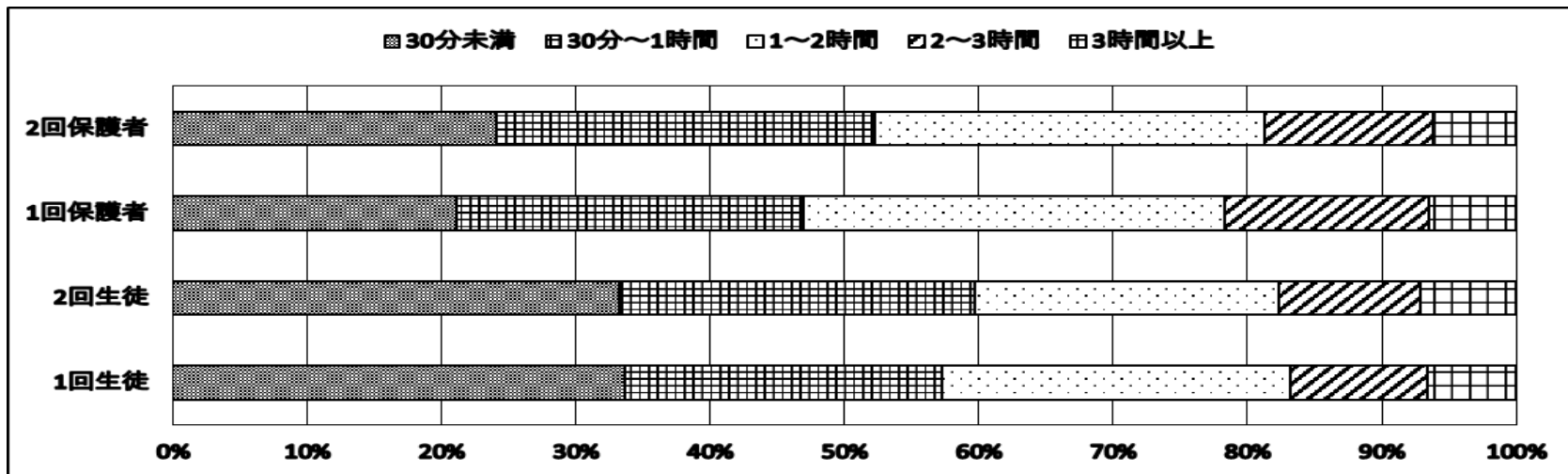
- 紙面アンケート
対象：保護者と生徒446組

- ・ 第一回（開始時）
保護者回答数：380件
生徒回答数：371件

- ・ 第二回（終了時）
保護者回答数：388件
生徒回答数：388件

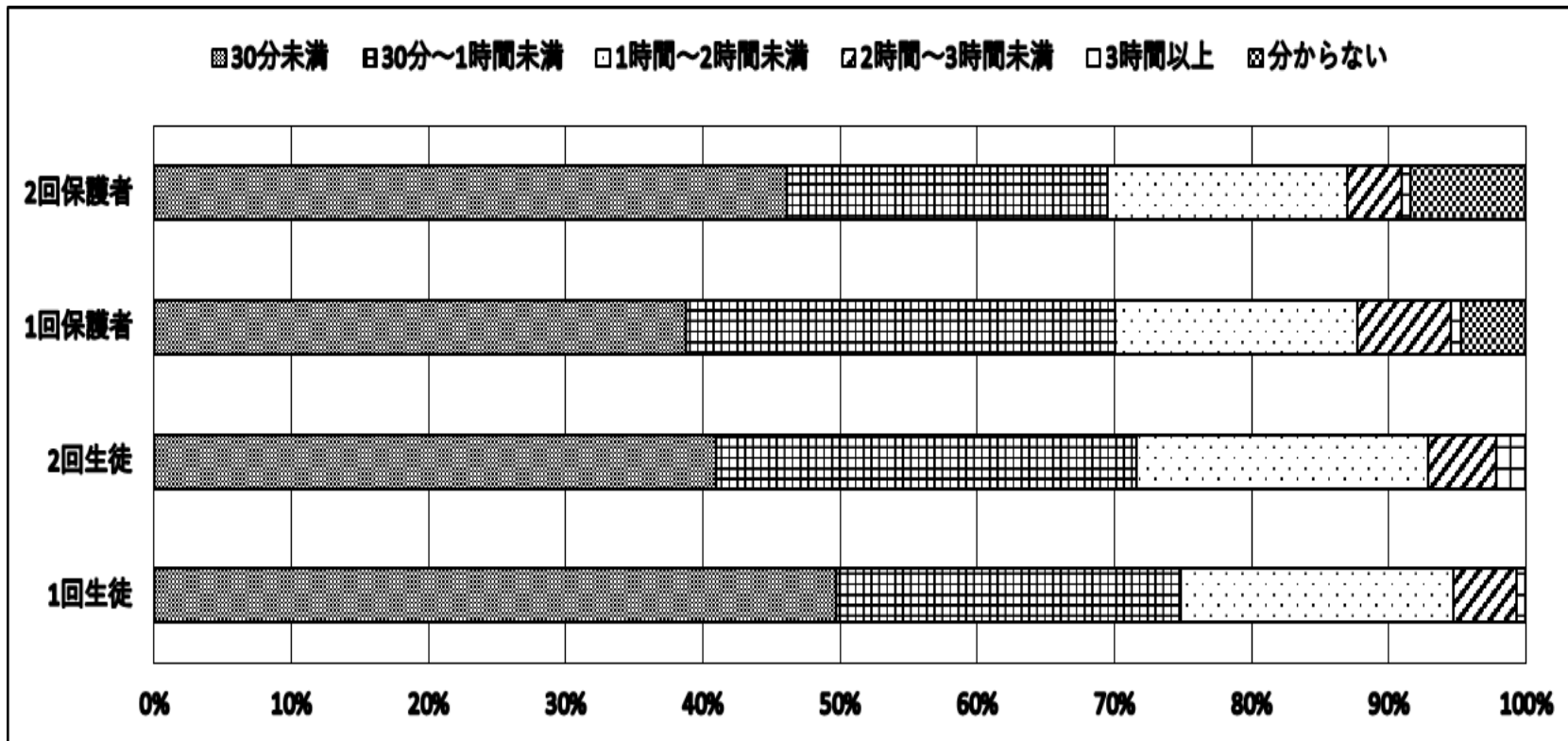
アンケートデータ 現状の把握①

■ スマホ接触時間（上段：平日 下段：休日）

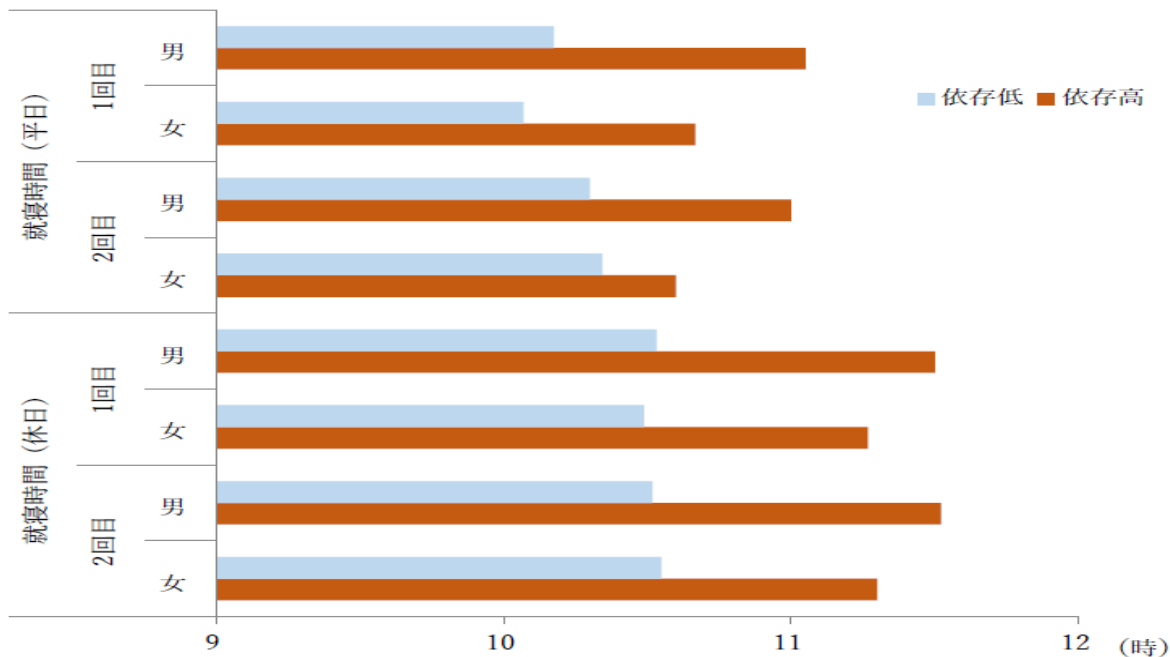


アンケートデータ 現状の把握②

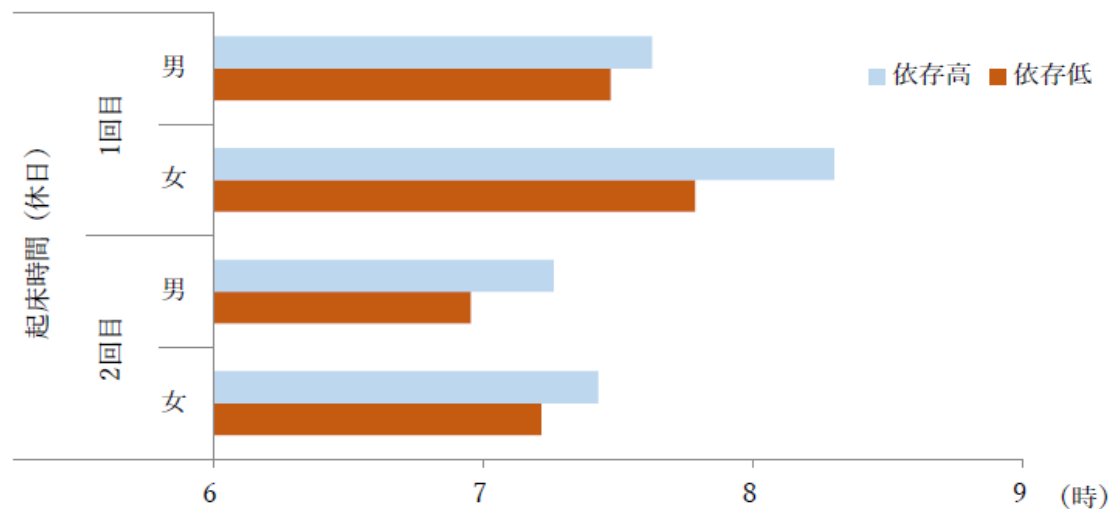
■ LINE利用時間



アンケートデータ 現状と変化の把握①

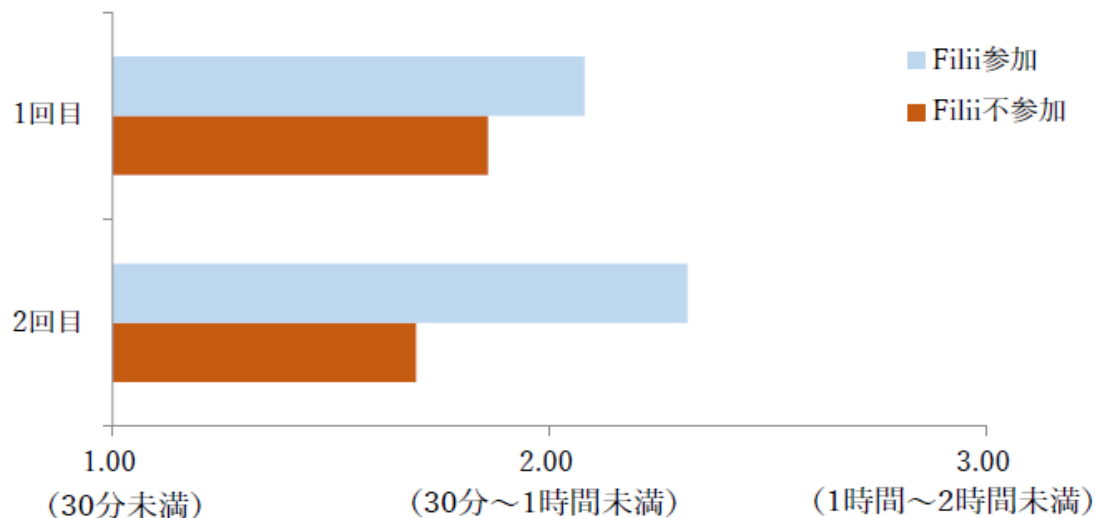


平日休日共に、依存が高い者の方が就寝時間が遅く、平日の就寝時間は女子よりも男子の方が遅い。

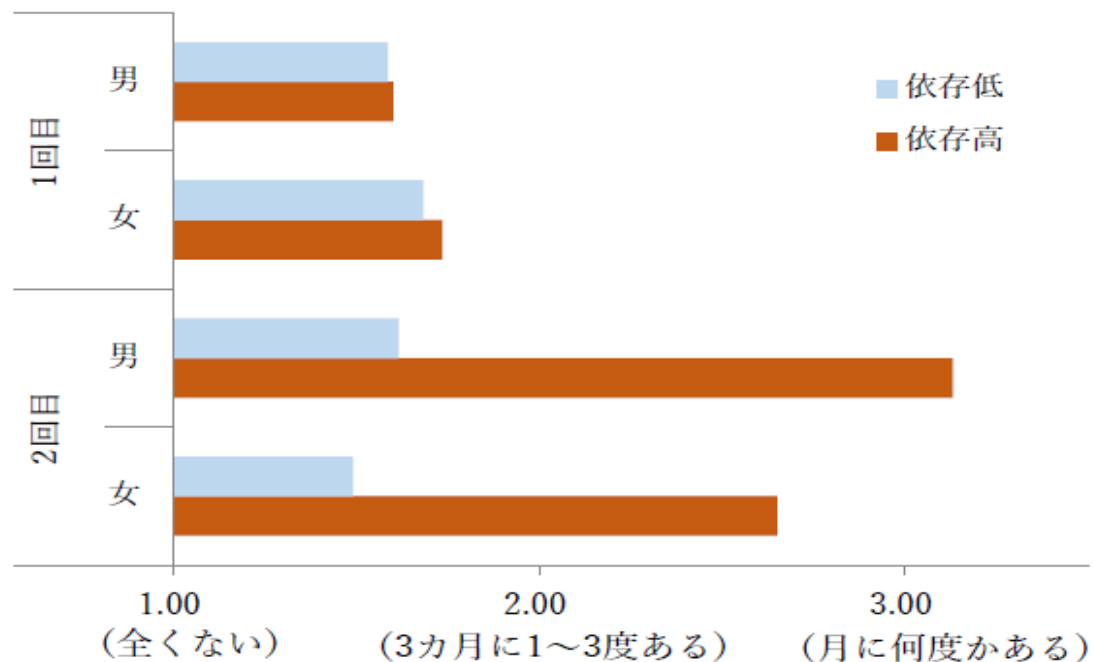


依存が高い者の方が休日の起床時間が遅く、男子よりも女子の方が休日の起床時間は遅い。

アンケートデータ 現状と変化の把握②

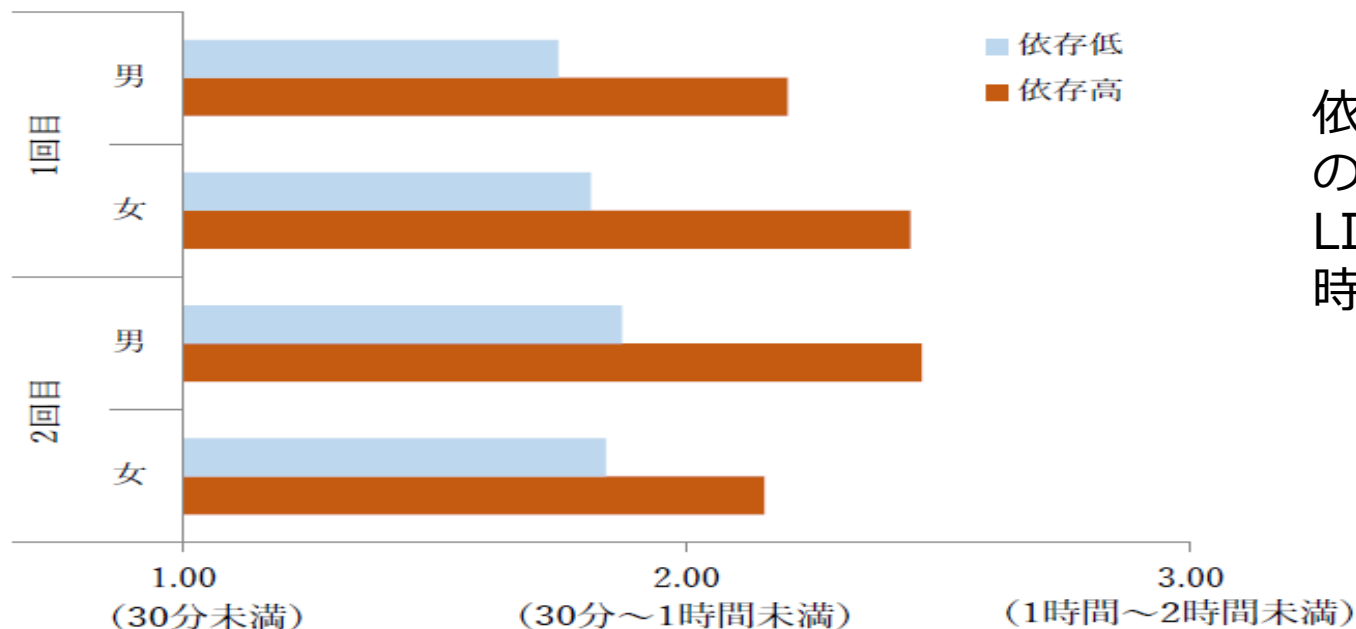


モニター参加者は、不参加者と比べ、保護者が把握している1日のLINE使用時間が長い（実態を正しく把握できている可能性がある）。



2回目のアンケートでは、依存が高い者の方が、夜11時以降にスマホを利用する頻度が高い。

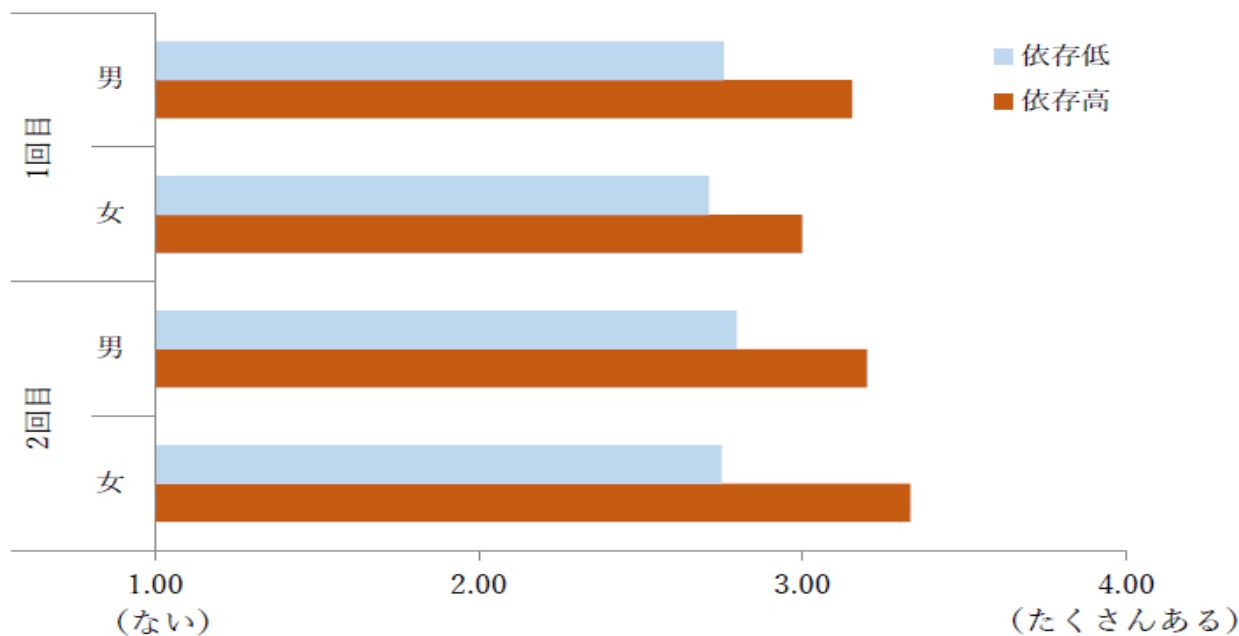
アンケートデータ 現状と変化の把握③



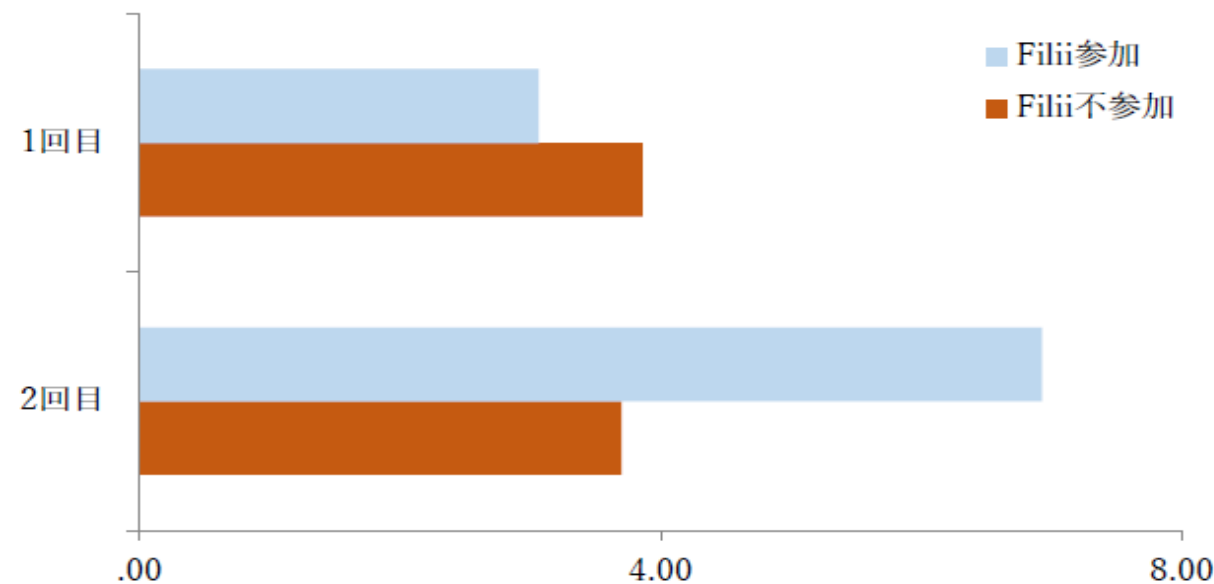
依存が高い者の方が、LINEの使用時間が長い。

2回目のアンケートでは、子どもが誰と仲良くしているか、学校の提出物の締切がいつか、といった子どもに関する細かい情報を保護者が把握しているほど、子どものスマホへの依存度は低い。一方、親が、子どもが自由時間に何をしているか、知っているほど子どもの依存度は高いが、これは子どもが自由時間にスマホを使用していることの把握による影響と考えられる。

アンケートデータ トラブルと対応の把握①

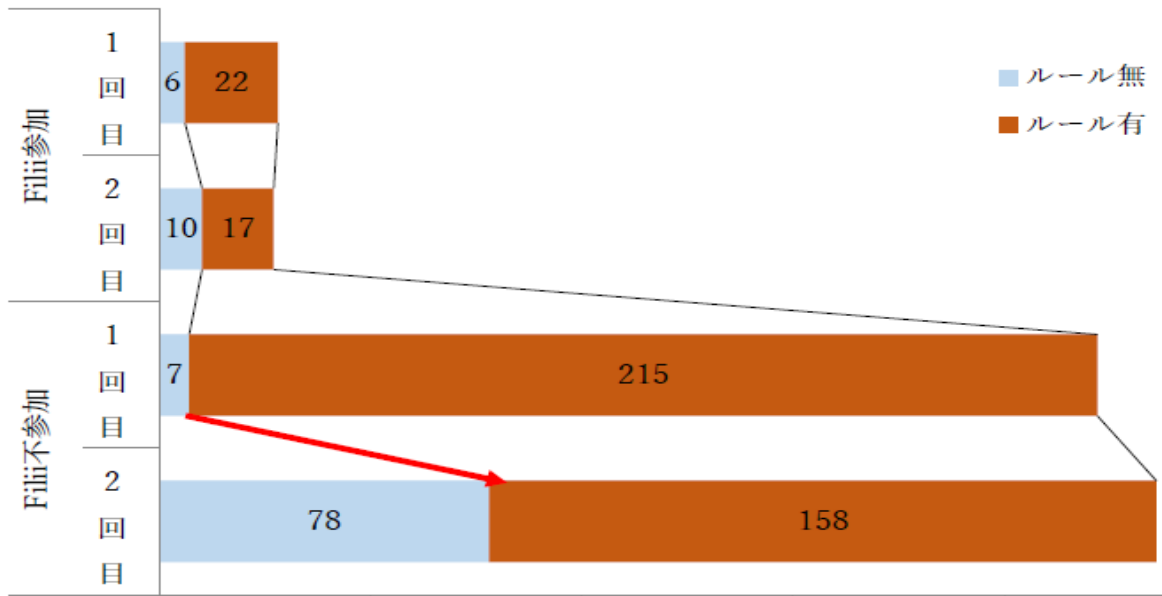


依存が高い者の方が、スマホ・インターネットの利用ルールを守れなかったことが多い。

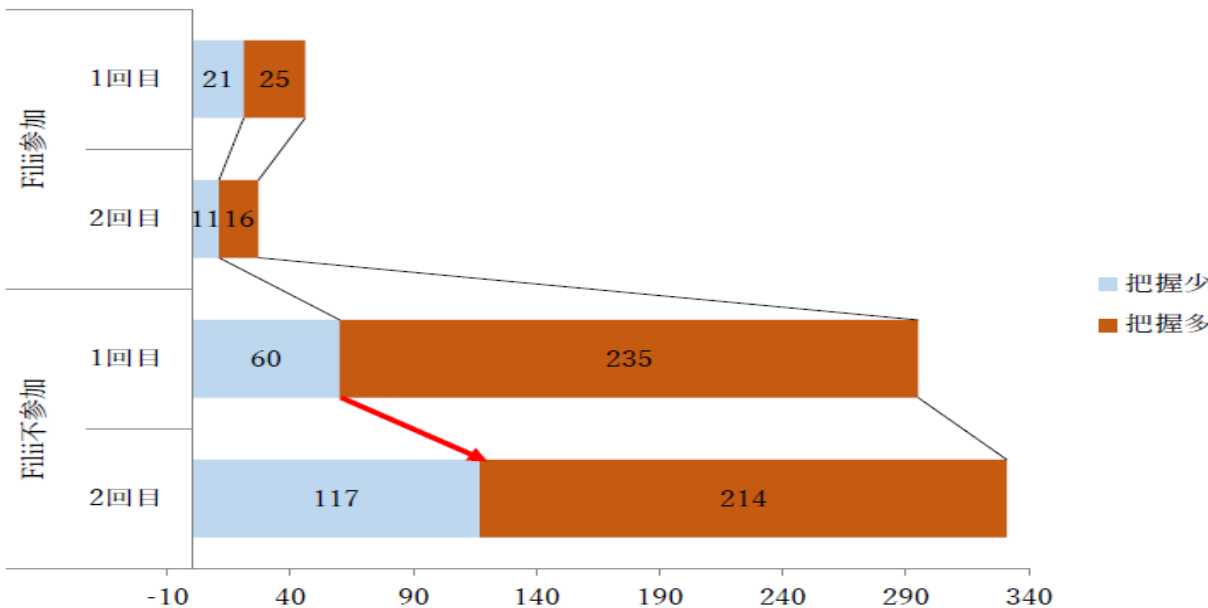


モニター参加者は、不参加者と比べ、2回目に設定しているスマホ・インターネットを利用する場合の家庭のルールの種類が多い（実態に合わせ、ルールが増えている可能性がある）。

アンケートデータ トラブルと対応の把握②

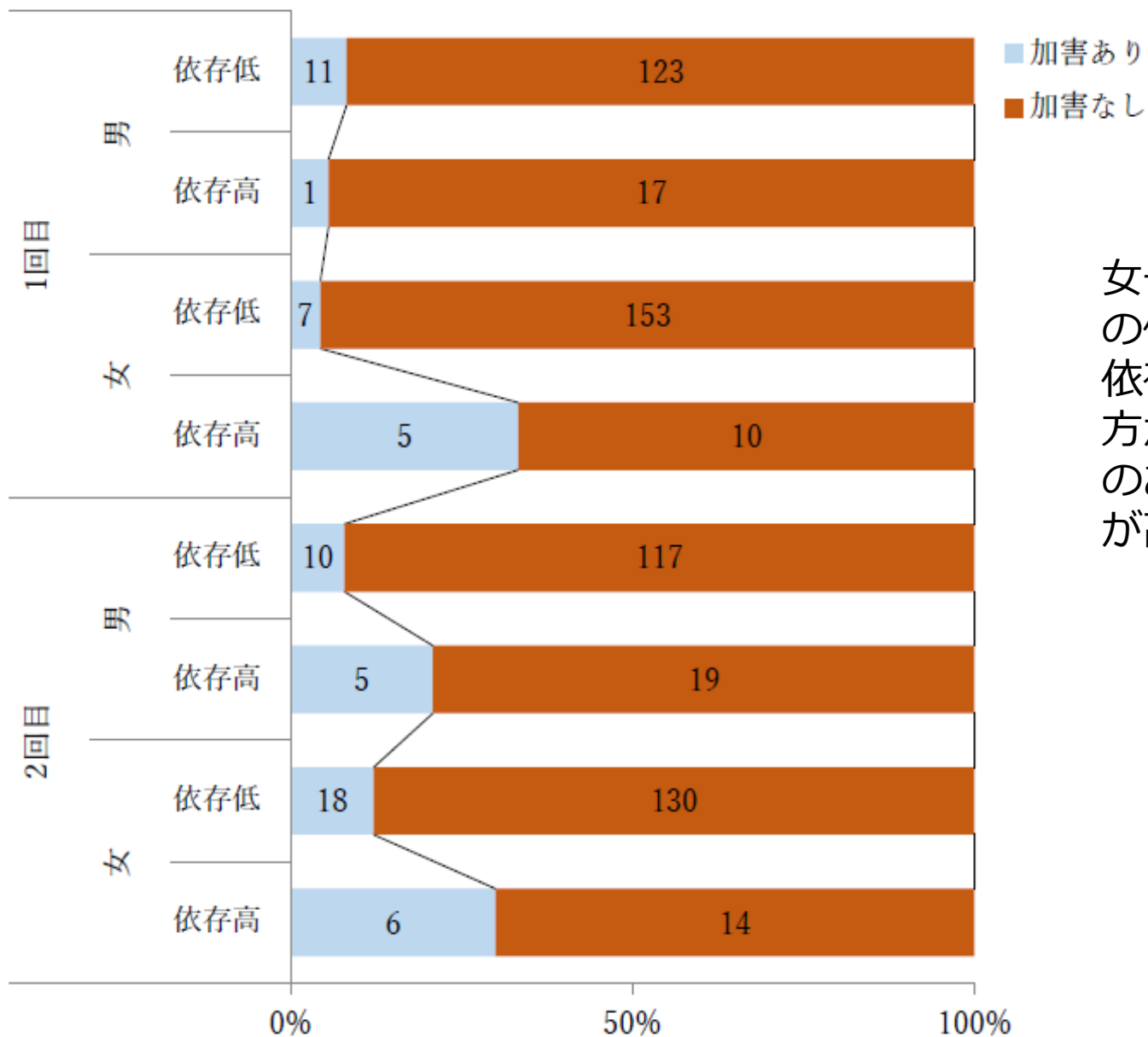


モニター不参加者では、スマホ・インターネットの利用ルールがなくなっている（形骸化している）と回答する保護者の増加傾向が強い。



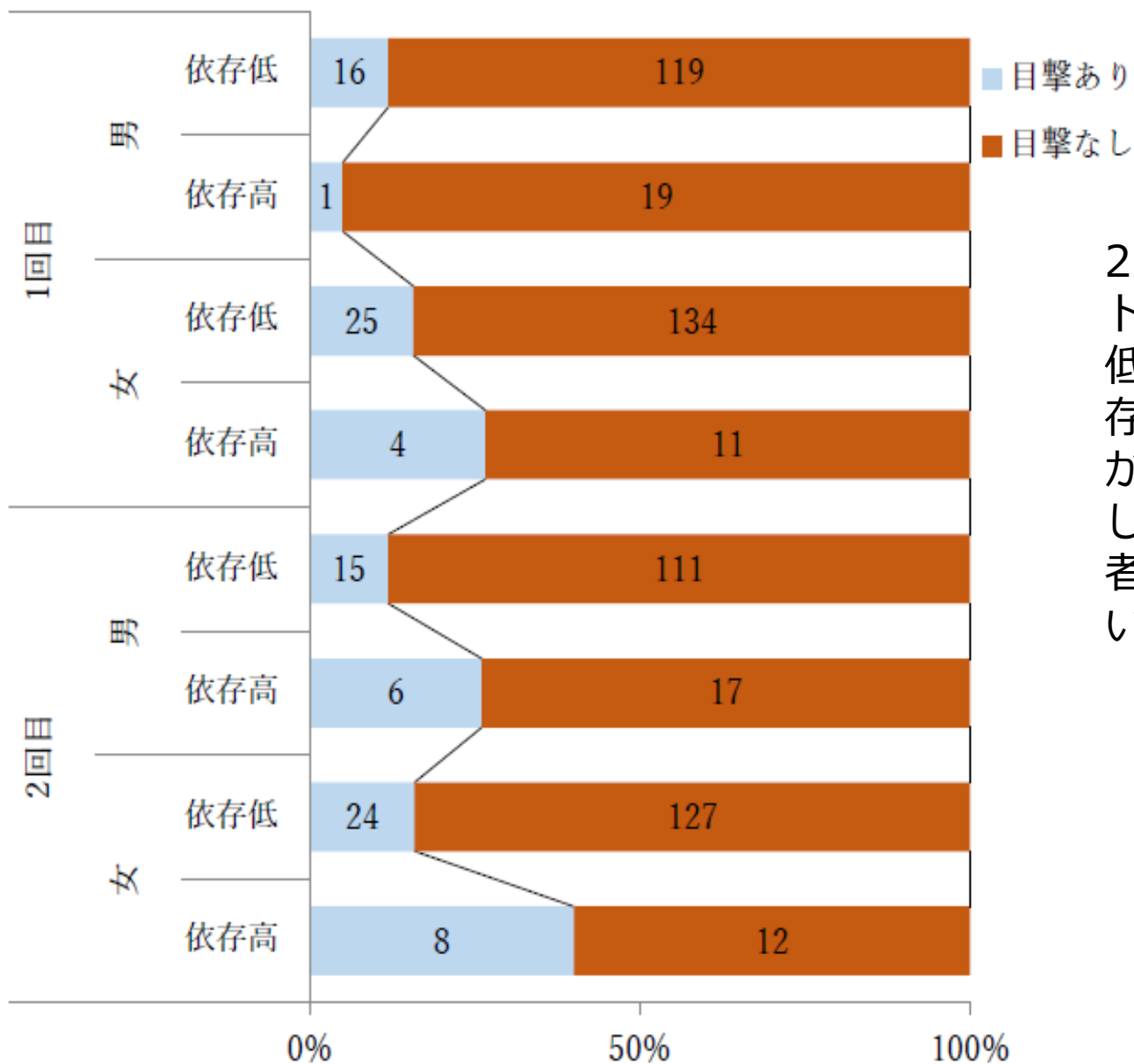
モニター不参加の保護者は1回目と比べ2回目で、子どもの被害状況を把握していない割合が高い。

アンケートデータ トラブルと対応の把握③



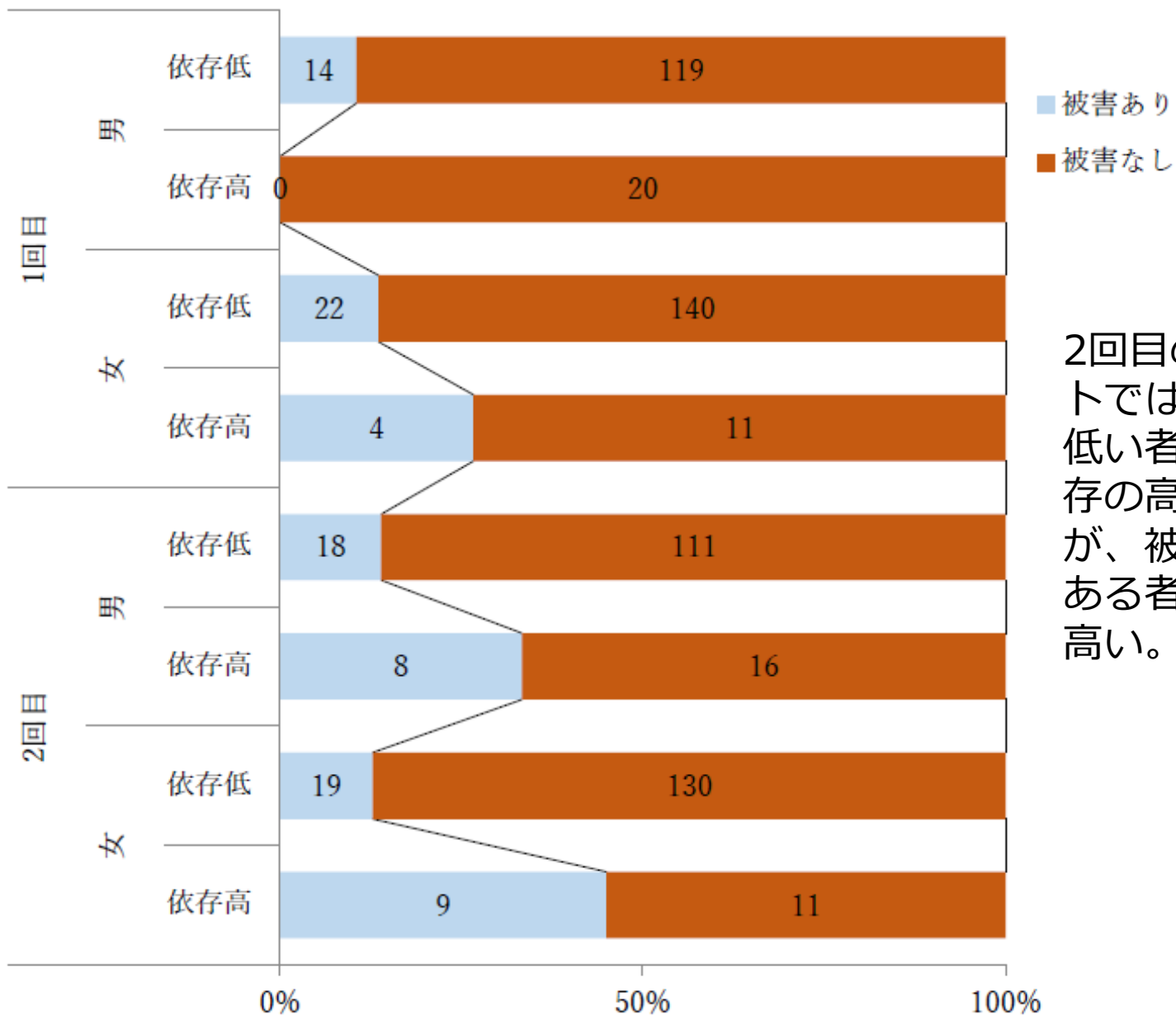
女子では、依存の低い者よりも依存の高い者の方が、加害経験のある者の割合が高い。

アンケートデータ トラブルと対応の把握④



2回目のアンケートでは、依存の低い者よりも依存の高い者の方が、被害を目撃した経験のある者の割合が高い。

アンケートデータ トラブルと対応の把握⑤



2回目のアンケートでは、依存の低い者よりも依存の高い者の方が、被害経験のある者の割合が高い。

Filiiかしわ モニター申し込み状況

■ モニター指定校以外に参加希望校を加え、公立校と私立校を合わせて18校の約2,800名にパンフレットを配布。

■ モニター（最終登録者数）

43組

■ 調査期間

平成28年4月7日～7月20日

モニターに参加しなかった理由
(アンケートから)

- ① スマホを持っていない 30%
- ② 対応機種でない 17.5%
- ③ SNSやアプリを使わない 9.5%
- ④ 案内を知らなかった 8.5%
- ⑤ よくわからなかった 8.5%

The pamphlet features the following content:

- Header:** A's Child x Filii x HITACHI Inspire the Next. Title: Filiiかしわ モニター募集のお知らせ.
- Sub-header:** 「柏市ネット型非行抑止サービス」事業 - ご家庭・学校・地域で取り組むネット非行対策 -
- Main Text:** お子様の意思に関係なく、ネットの危険に巻き込まれます! いじめ 炎上 出会い系 児童ポルノ 薬物 から守れますか? 非行傾向の無いお子様がネットを通して非行に巻き込まれる「ネット型非行」が増えています
- Section 1:** 迫る「ネット型非行」。一体どうすれば? (自分に参加している最も大きいLINEグループの人数は?)
- Section 2:** 「Fiiii」が提供する仕組みと主な機能 (Fiiiiで表示されるアラートのイメージ)
- Section 3:** アクティビティ分析 (Twitterの検索結果)
- Footer:** 実施主体 柏市 x エースチャイルド株式会社 x 株式会社日立製作所

※事前説明会はモニター指定校で実施
希望校へはパンフレット配布のみ

Filii分析データ①アラート分析 『LINE』について分析 対象ユーザー：31名

■危険性のある単語の把握

■アラート件数

低レベル：2,071件

中レベル：29件

高レベル：0件

アラートのレベルは、単語や、やりとりから総合的に判断されます。

保護者からの通報や学校・少年補導センターが対応するトラブルに発展したアラートはありませんでした。

危険性の高いトラブルの発生に関連しそうな単語

| 注目単語 | 発生件数 |
|------|------|
| 無視 | 25 |
| 死ね | 14 |
| 消す | 9 |
| 殺す | 6 |
| 家出 | 5 |
| 殺害 | 5 |
| 殺人 | 4 |
| 死 | 3 |
| 消えろ | 3 |

Filii分析データ②つながり分析 『LINE』について分析 対象ユーザー：31名

■ 関係性のある仲間の把握

| やりとり回数 | |
|--------|---------|
| 平均件数 | 3,694件 |
| 最大件数 | 16,125件 |

やりとり回数の最大件数から見ると、相当数のつながりがあることがわかる。

| やりとり人数 | |
|--------|------|
| 平均人数 | 157人 |
| 最大人数 | 639人 |

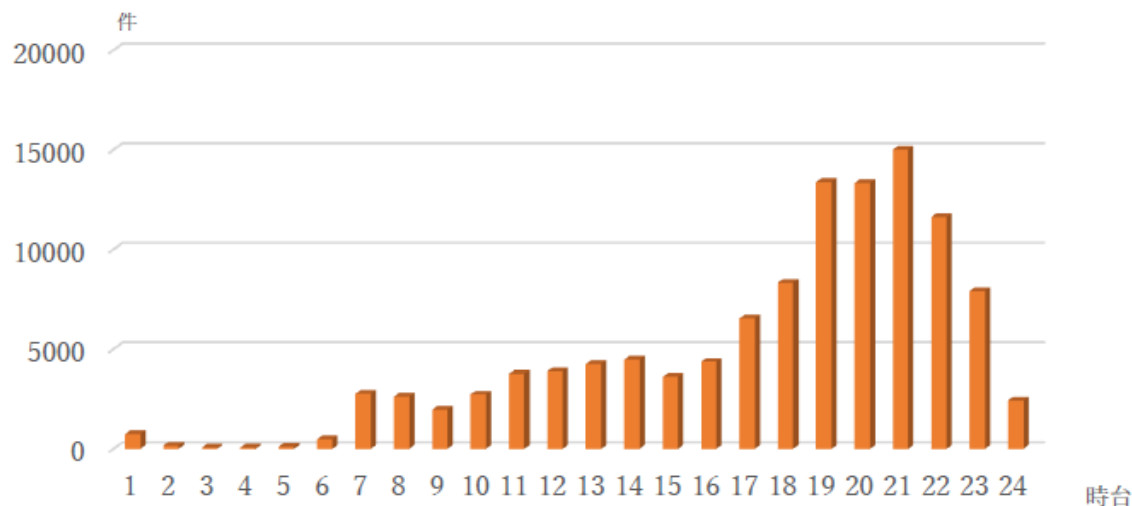
やりとり人数は、非常に多くの数値が表され、学校関係の友人だけでなく、塾など外部でのつながりが多くあると推測される。

※複数グループによる重複を含む

Filii分析データ③アクティビティ分析 『LINE』について分析 対象ユーザー：31名

■時間数, 時間帯等の把握

- ・夜9時台に一番やり取りしているという結果が出て,多くは就寝前までに終わらせているが,中には日付が変わってもやり取りしているケースが見られた。
- ・平日よりやはり休日の方が使用時間が多いことがわかった。



やり取りをしている
時間帯
(平日・休日合算)

※日中の時間帯のやり取りはほぼ休日

アンケートデータ 自由記述から

■保護者の自由記述より

- ・無償化の期待や国や市の補助を求める意見があった。
- ・モニター利用の結果,話し合いの機会が得られたとの感想。
- ・（その他）
サービス自体に期待していないや十分な理解がされなかったと推察されるコメントが見受けられた。

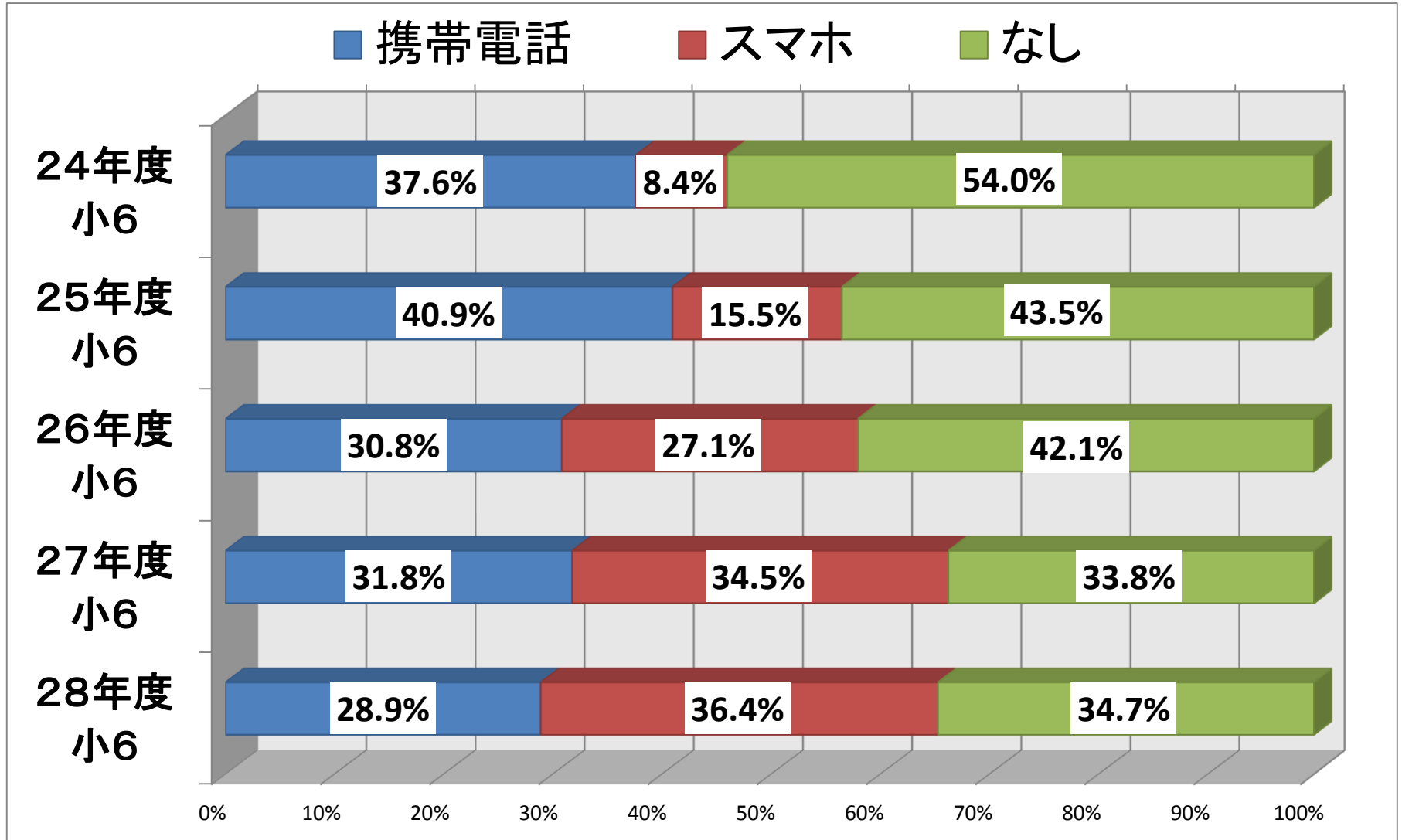
■生徒の自由記述より

- ・トークを見られるのが嫌（※実際は内容を見られない。）
- ・柏市に在住することの誇りや感謝の言葉が散見された。
- ・他の自治体へも広めてもらいたい等の意見があった。
- ・「無料にすべき」「親ではなく補導センターが把握すべき」「確実に導入するべき」という意見が出ていた。

携帯電話・スマートフォン所持率

(H28.柏市学校警察連絡協議会生活実態調査より)

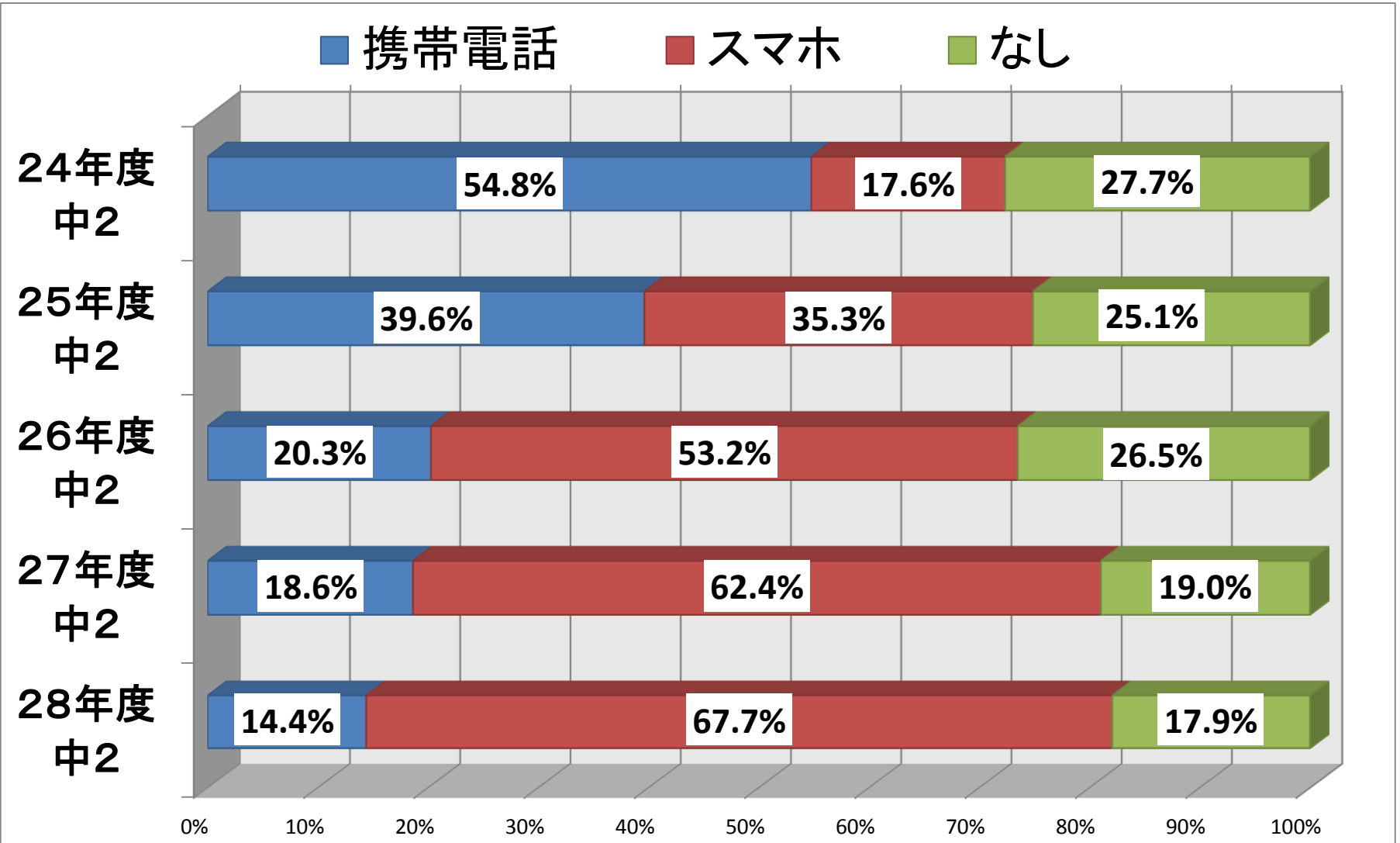
* 抽出 小学6年生:約1200名 中学2年生:約1700名 高校2年生:約1200名



携帯電話・スマートフォン所持率

(H28.柏市学校警察連絡協議会生活実態調査より)

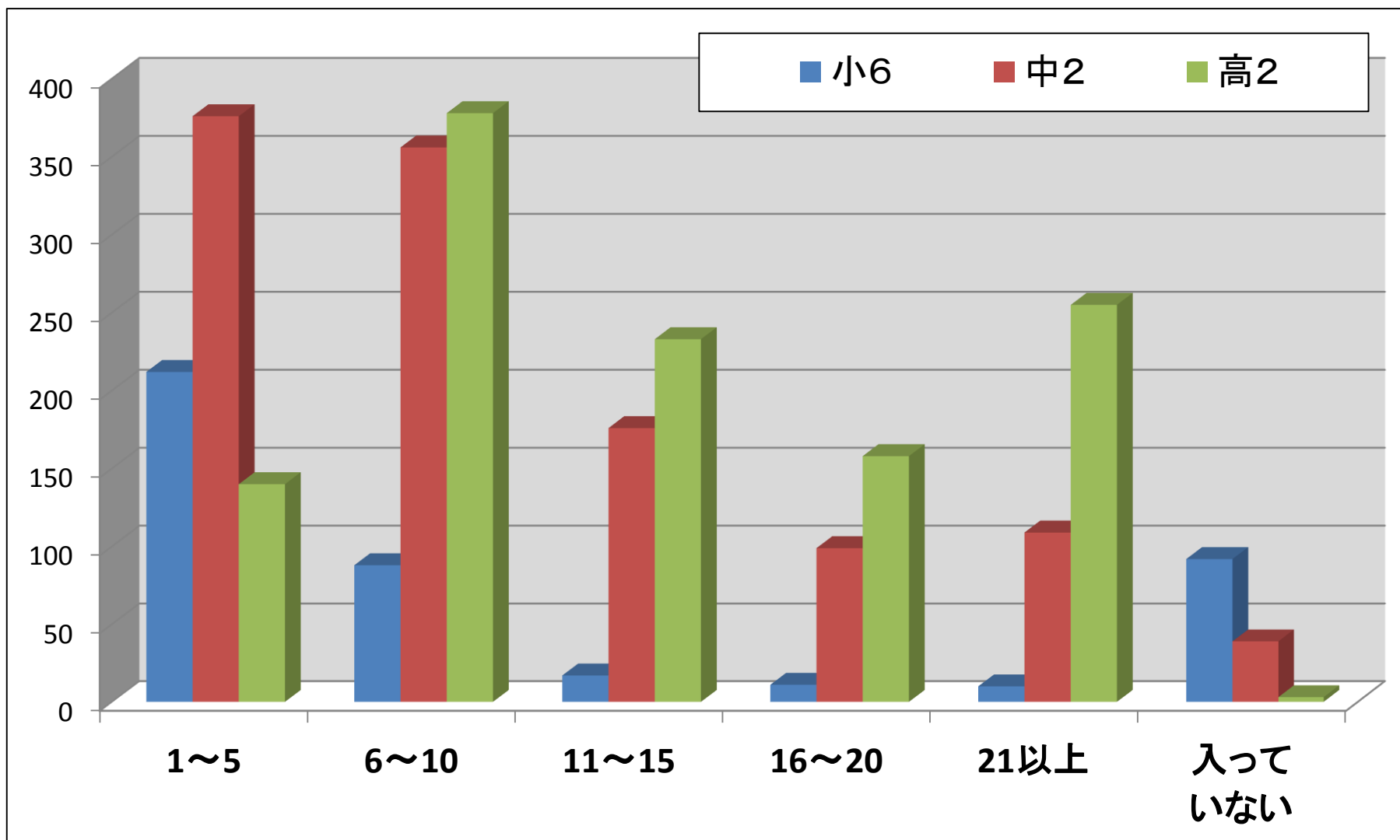
* 抽出 小学6年生:約1200名 中学2年生:約1700名 高校2年生:約1200名



LINEのグループにいくつ入っているか

(H28.柏市学校警察連絡協議会生活実態調査より)

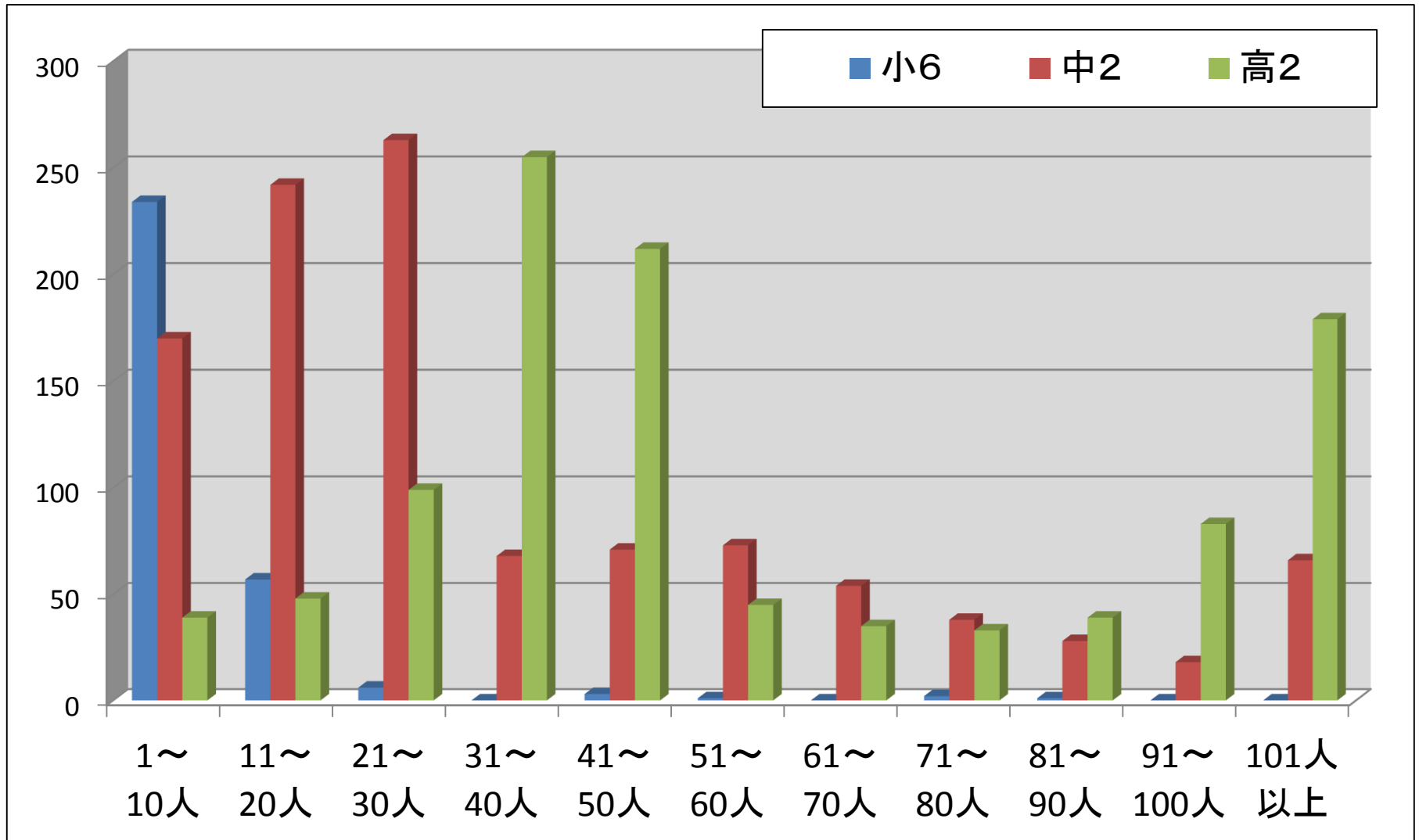
* 抽出 小学6年生:約1200名 中学2年生:約1700名 高校2年生:約1200名



一番参加人数の多いグループの人数は

(H28.柏市学校警察連絡協議会生活実態調査より)

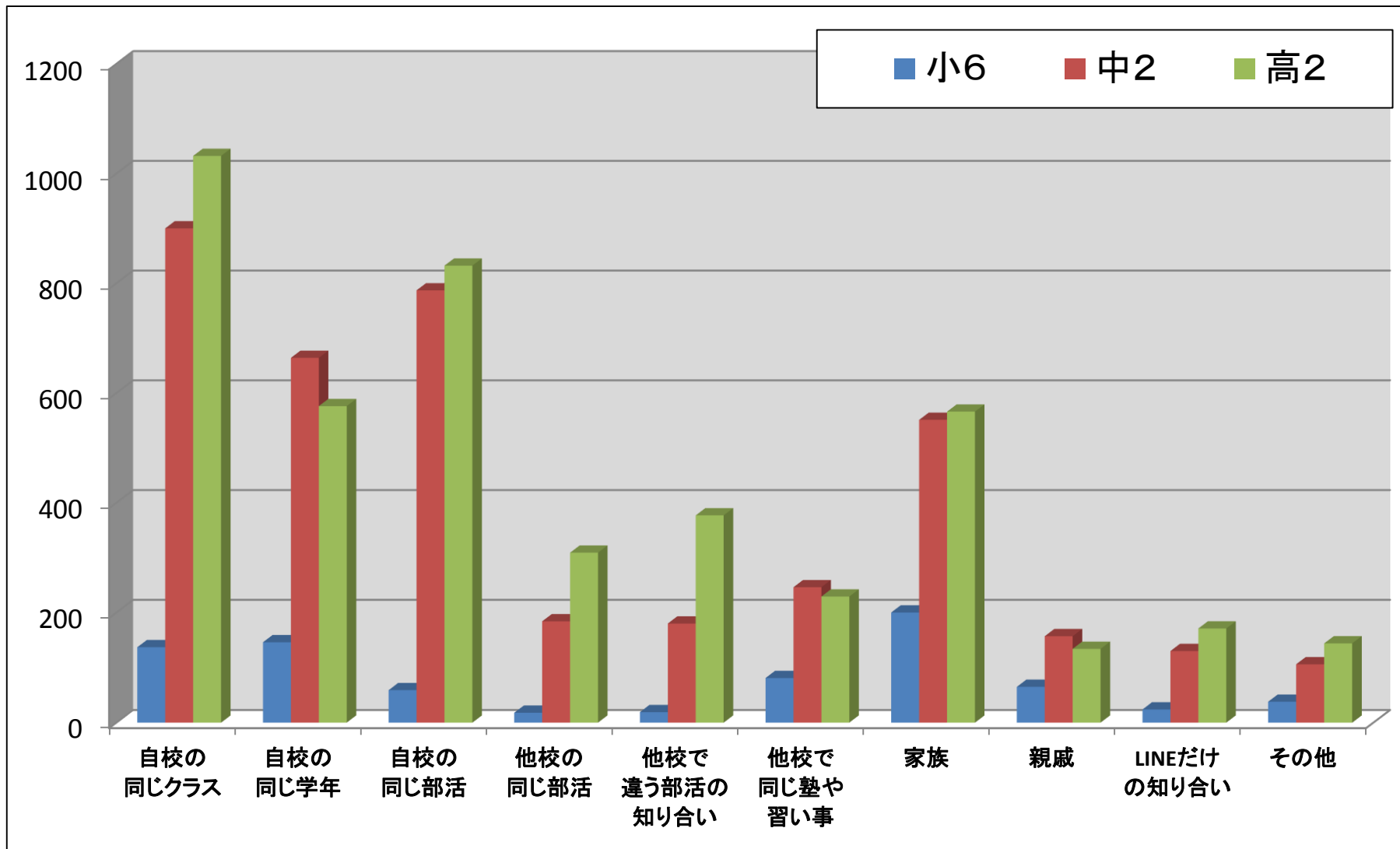
* 抽出 小学6年生:約1200名 中学2年生:約1700名 高校2年生:約1200名



どのようなグループに参加しているか

(H28.柏市学校警察連絡協議会生活実態調査より)

* 抽出 小学6年生:約1200名 中学2年生:約1700名 高校2年生:約1200名



誰に相談するか

(H28.柏市学校警察連絡協議会生活実態調査より)

* 抽出 小学6年生:約1200名 中学2年生:約1700名 高校2年生:約1200名

